

秋の火災予防運動

～火の確認 いい日を支える いい習慣～

11月9日(月)～11月15日(日)



中区内で火災が急増しています!!

令和8年8月末現在、52件の火災が発生し、
昨年と比べ11件も増加しています。

その主な出火原因は…

1位

たばこ (18件)



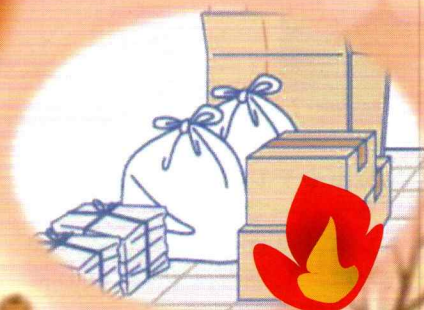
2位

こんろ (8件)



3位

放火 (6件)



あなたの自宅は大丈夫ですか？

対策は裏面へ→

名古屋市消防局 中消防署

火災による被害を防ぐには

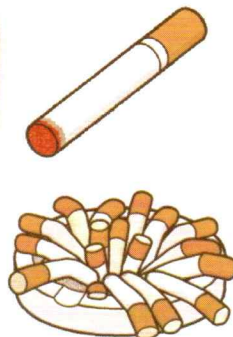
住宅の火災予防をチェックしてみましょう☑

こんろ火災ゼロを目指そう



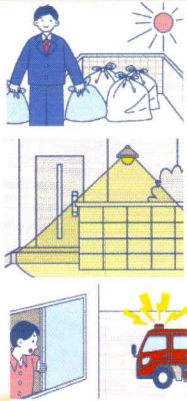
- ☐ 火をつけたまま離れない
- ☐ 周りに燃えやすい物を置かない
- ☐ ゆったりした服の袖など着衣着火に注意
- ☐ こんろやグリルは定期的に清掃する

たばこの不始末に注意しよう



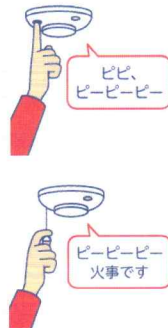
- ☐ 灰皿の周りに燃えやすい物を置かない
- ☐ 寝たばこをしない
- ☐ 灰皿に火をつけたまま放置しない
- ☐ 灰皿に吸殻をためない
- ☐ 灰皿に水を入れしっかり消火する

放火されないために



- ☐ 家の周囲、共用部の廊下や階段に燃えやすい物を置かない
- ☐ 資源・ゴミは 収集日の朝に出す
- ☐ 屋外灯を点灯する
- ☐ 隣近所で声を掛け合う
- ☐ 消防車のサイレンが聞こえたら窓を開け周囲を確認

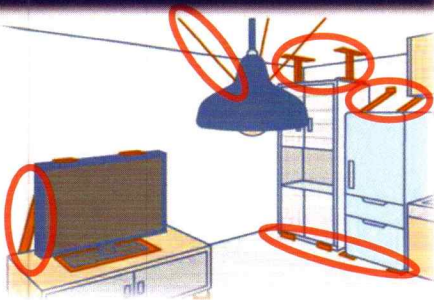
住警器の設置・点検をしよう



住宅用火災警報器（住警器）は、
☐ 寝室 ☐ 台所 ☐ 寝室のある階の階段に設置が必要です。
点検は、ボタンを押すかひもを引っ張りましょう。正常な場合はメッセージまたは警告音になります。
設置して**10年**が取替えの目安です。
電池切れなどで火災を感知しなくなることがあるため、**機器ごと交換**をしましょう。

地震対策、できていますか？ ～令和8年熊本地震を踏まえて～

転倒防止対策



- ・冷蔵庫やテレビは、ベルトやストッパーで固定する。
- ・タンス、クローゼット、食器棚などは、L字金具や突っ張り棒で固定する。
- ・吊り下げ式の照明器具は、チェーン等で固定する。

備蓄品と非常持出品

備蓄品は**7日分**程度備えておく心安心です。命を守るための最低限のものを3日分程度、リュックサック等に詰めておき、非常持出品としていつでも持ち出せるようにしておきましょう。



令和8年熊本地震では、飲料水や食料、生活用品のほか、猛暑・酷暑下であったため、小型扇風機やサーキュレーター用のポータブル電源や、冷却スプレー、経口補水液・塩分タブレットなどが重宝されました。

家族との安否確認

家族や知人の安否を確認する手段として、LINEやXなどの**SNS**が活用されました。

- そのほかにも、
- ・災害用伝言ダイヤル (171)
 - ・災害用伝言板 (web171)
 - ・企業が提供する安否確認サービスなどが挙げられます。

名古屋市が作成した

「名古屋市防災アプリ」では、家族・友人の安否情報の送信と、名前による安否情報の検索・登録が可能です。



名古屋市中消防署

お気軽にお電話ください。

☎052-231-0119

中消防署ホームページでは防火・防災に役立つ情報を掲載しています⇒

